

平成 27 年度第 2 回庄原市初任者研修会

平成 27 年 6 月 10 日（水） 庄原市総合体育館 2 階 会議室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者】小学校（教諭 8 名, 養護教諭 1 名） / 中学校（教諭 5 名）

【講話・演習①】「生徒指導上の課題と児童生徒理解」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 高見 省吾

学校においては、庄原市の生徒指導上の課題を踏まえ、生徒指導の意義や目標を理解するとともに、問題行動への早期対応、組織的な対応が必要である。



（参加者の振り返りより）

- ◇問題行動に対する組織的な対応や、家庭との連携、子供達との関係作りについて参考になった。
- ◇問題行動の時だけではなく、全ての時間で生徒指導を行うことが分かった。生徒指導の三機能を生かした授業づくりを行いたい。

【講話・演習②】「特別支援教育の視点を踏まえた児童生徒への関わりや授業づくり」

庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 岩本 靖代

特別支援教育を推進するにあたり、個に即した手立てを具体的にする。その際、「自立・社会参加」を基底にする必要がある。



（参加者の振り返りより）

- ◇特別支援教育の視点になった際に、行動を細分化して実態を正確に捉えることで、効果的な支援を行うことができると思った。
- ◇「自立」「社会参加」という視点をもつことで、指導・支援の方法が考えやすくなった。